一泉

発行所
〒921 金沢市泉野出町
3丁目10－10
金沢泉丘高等学校内
一泉同窓会
電話(0762)42－0211
定価　1部　150円
㈱橋本清文堂

創立百周年にむかって

一泉同窓会会長　渋谷亮治

はからずも、同窓会長という大役をご指名頂いてから早くも一年近く、もう本年度の総会のご相談や準備を始めねばならぬ時期になりました。

早々に大先輩や又、後進の若い泉ヶ丘委員にも副会長をお願いし、早くも八年先の百周年の論議が交わされた常任委員会にも多数ご参加を頂いて、一泉の同窓生の集いの力強さとぬくもりを痛感させて頂きました。

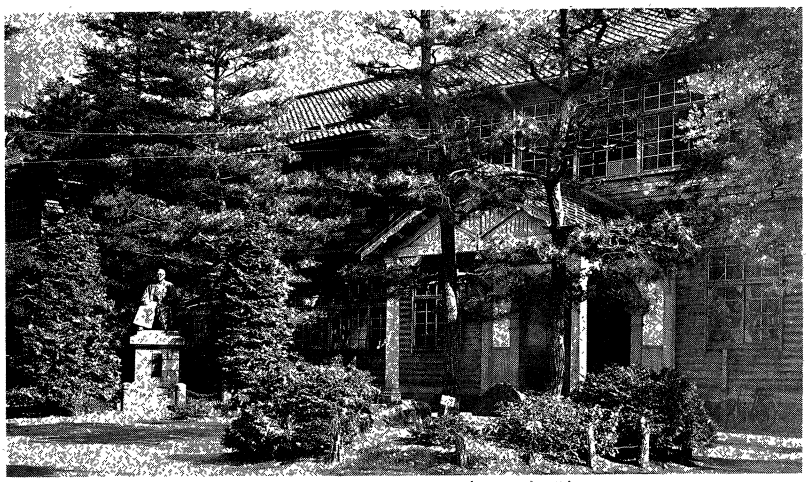
所で、ふって湧いてきたのが石川県選挙区参院議員選の問題で、私共五四回同窓の前建設省技監の沓掛哲男君が、曲折の末自民党公認を得、御承知の通り無事初当選を果たしました。同窓会としては、有志後援の会として一部副会長の皆さんに世話人をお願いして、それなりに支援体制を取りましたが、問題はむしろこれからの六年間の充実した活動後援体制をどう組むかにあろうかと思います。ご意見ご指導を賜わりたくお願いを申し上げます。

又、永年にわたって文字通り同窓会の要めとしてお世話を頂いてきた西多事務局長が、この辺でお休みをしたい、しかし百周年のための資料集めや整理は出来るだけお手伝いするからとの強固なお申し出で、常任委員会の皆さんにはかって副会長として残って頂いて、堀口渉さん（45期）に後任事務局長を引き受けて頂くことでスムーズに事が運んで感謝を致しております。

さて、本年度の総会も十月十五日に行われますが、会場は例年のニューグランドホテルか、九月二十日に新装オープンになる香林坊大和になるかまだ決まっておりません。ただ、出来るだけ若い泉丘出身の方々にもっと多く出て頂きたいという希望を持っており、総会、パーティーの運営も出来れば泉丘の数期ごとに担当持ち廻り制でやって頂きたいと願っております。アイデアを事務局の方へもお寄せ下さい。

又、五月末には関西一泉の総会に出させて頂き、おめでたの八十島会長さん始め、担当期の若い泉丘会員の方々とも歓を尽くして参りました。又、松任一泉の総会では、私の同期の三菱総研の宮川氏の講演もあり盛会でありました。

いずれにしても百周年を目指して年々新会員も増加して参り、全国にわたって同窓会活動も活性化されてくる事は大変喜ばしい事であり、全会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げて筆をおきます。



大正初期の金沢一中校舎（正面玄関）

「一泉」第十二号によせて

泉丘校蔵書解題目録の編集を終えて (9)

古活字版太平記(泉丘本)とキリシタン版「太平記抜書」

山森青硯（一中三十三回卒）

太平記（以下泉丘本と云う）は四〇巻目録剣巻二一冊

慶長一五年(一六一〇)刊　二八×二〇

蔵書印「金沢学校」「石川県尋常中学校蔵書章」

とある。日置謙先生は、活字版の新古を慶長と教示され、慶長以前の活字本を古活字版と命名された。然し乍ら現世では寛永迄に下り、甚しきは慶安迄に下っている状態である。

太平記の活字本を列記するならば、慶長八年(一六〇三)慶長十年(一六〇五)慶長十二年(一六〇七)慶長十四年(一六〇九)慶長十五年(一六一〇)元和二年(一六一六)寛永元年(一六二四)慶安三年(一六五〇)と最も多く、異本も極く僅少。慶長十五年古活字版は、

キリシタン版太平記抜書

単辺、無界、十二行片仮名交り。活字は稍小型に属す。匡郭内、縦七寸六分、横五寸五分半。巻末に「慶長十五暦庚二月上旬日　春枝開板」の刊記あり。春枝に就きては未詳なるも、慶長十一年に四体千字文等の刻あり。（古活字版の研究五四三頁）となっている。

泉丘本は「慶長十五年暦二月上旬日　春枝開板」と巻末にあり、堂々たる古活字版である。筆者、管見の伝本極めて多く、我邦十四本に達しているが、完本(欠本なし)は我が泉丘本一本である。泉丘本と他本との異りを示せば、岩波版日本古典文学大系三十四「太平記一」十五頁に慶長十五年片仮名交り十二行古活字本（巻末に慶長十五年暦庚戌二月上旬日　春枝開板とあり、この本から総目録を別冊とする）元和二年仮名交り十二行古活字本（巻末に時丙辰歳次元和孟秋上旬日とあり、この本から総目録と剣巻とを合せて別冊とする）は同じ特色をもちその差は誤字程度である。とある。慶長十五年古活字は、目録のみ別冊と述べているが、泉丘本は、剣巻と目録併せて一冊となっている。川瀬一馬先生著「古活字版の研究」第二編五四二頁には、

慶長十五年春枝刊本で、有刊記本としては本書より剣巻が附載せられる様になった。

とあるから、泉丘本に剣巻が附いているは当然であるが、他書との異りは前記剣巻と目録併せて一冊となっていることである。

もう一つ泉丘本の特色と云えば、同じ慶長十五年(一六一〇)に、我が郷土に最も近い京都に於いてキリシタン版「こんてむつす、むん地」四巻一冊」が出版されている。印刷所は京都アントニオ印刷所である。同じ古活字版と雖も、我邦本来の古活字版とキリシタン版（古活字版）と同年版と云うことは極めて稀異と云わね

学校新聞

「桜章時報・いずみの原」縮刷版の発売について

母校創立九十周年記念事業の一環として昭和十二年より昭和十七年にかけての旧金沢一中時代の学校新聞「桜章時報」の全号と昭和二十三年の旧金沢一高時代から現在に至る「いずみの原」全号の縮刷版が刊行されました。卒業された皆様には青春時代の往時の思い出として興味ある記録かと存じます。

同誌をご希望の方は、金二、五〇〇円（送料共）ご送附の上当事務局宛お申込み下さい。

◎縮刷版　レザック表紙
A4版五八〇ページ

〒921　金沢市泉野出町三―十―十
一泉同窓会
郵便振替
金沢〇―四二五四
Tel〇七六二(42)〇二一一